

## コルヒチン錠0.5mg「タカタ」

## 【この薬は？】

販売名	コルヒチン錠0.5mg「タカタ」 COLCHICINE Tablets 0.5mg “TAKATA”
一般名	コルヒチン Colchicine
含有量 (1錠中)	0.5mg

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、白血球、特に好中球の作用を抑えます。これにより、痛風発作を和らげたり、予防したりします。また、家族性地中海熱の治療にも使用されます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**痛風発作の緩解及び予防****家族性地中海熱**

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にコルヒチン錠0.5mg「タカタ」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

- ・肝臓や腎臓に障害のある人で、肝臓の分解（代謝）酵素である CYP3A4 を強く阻害する薬（アタザナビル、クラリスロマイシン、イトラコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビルを含む製剤、コビスタットを含む製剤、エンシトレルビル）、または薬の排泄に関与する P 糖蛋白を阻害する薬（シクロスポリン）を使用中の人
  - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（痛風発作の緩解及び予防の場合）
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・衰弱の著しい人（特に腎疾患、胃腸疾患、心疾患がある人）
  - ・肝臓の分解（代謝）酵素である CYP3A4 を強く阻害する薬または薬の排泄に関与する P 糖蛋白を阻害する薬を服用していない腎臓に障害がある人
  - ・肝臓の分解（代謝）酵素である CYP3A4 を強く阻害する薬または薬の排泄に関与する P 糖蛋白を阻害する薬を服用していない肝臓に障害がある人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人（家族性地中海熱の場合）
  - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

#### 〔痛風発作の緩解及び予防の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量と飲む回数	6～8錠（1日6回または8回に分けて飲みます） 発病予防には1～2錠
一回量	発作予感時には1錠

- ・痛風発作の発現後、飲み始めが早いほど効果的です。
- ・痛風発作の治療には1回1錠を飲み、痛みが和らぐまで3～4時間ごとに飲みます。使用量が増えると下痢などの胃腸障害の発現が増加するため、1日1.8mgまでが望ましいとされています。
- ・痛風発作の3～4時間前に先行する予兆を感じたら、できるだけ早く飲むことが望ましいとされています。
- ・長期間にわたる痛風発作の予防のための使用は、血液障害、生殖器障害、肝・腎障害、脱毛などの重篤な副作用があらわれる可能性があり、有用性が少なくすすめられません。

#### 〔家族性地中海熱の場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量	1錠 最大3錠まで
飲む回数	1日1回または2回に分けて飲みます

通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量	体重1kgあたり0.01~0.02mg 体重1kgあたり最大0.03mgまで かつ成人の1日の最大投与量を超えません
飲む回数	1日1回または2回に分けて飲みます

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

多く使用したり、間違えて飲んだりした場合、飲んでから数時間以内に急性中毒の症状として、悪心（おしん）・嘔吐（おうと）、腹部痛、激しい下痢、咽頭部・胃・皮膚の灼熱感、血管障害、ショック、血尿、乏尿、著明な筋脱力、中枢神経系の上行性麻痺、せん妄、けいれん、呼吸抑制による死亡などの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

### 〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・血液障害、腎障害、肝障害、横紋筋融解症、ミオパチー、末梢神経障害などがあらわれることがありますので、この薬の使用中は定期的に血液検査、生化学検査、尿検査などが行われ、これらの異常の有無が確認されます。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

### 〔痛風発作の緩解及び予防の場合〕

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。

### 〔家族性地中海熱の場合〕

- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

## 副作用は？



特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
ミオパチー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
末梢神経障害 まっしょうしんけいしょうがい	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、出血が止まりにくい、発熱、寒気、突然の高熱、脱力感
頭部	めまい
顔面	鼻血
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血
胸部	息切れ、動悸
手・足	手足のこわばり、手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく
皮膚	あおあざができる
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
尿	尿が赤褐色になる

## 【この薬の形は？】

販売名	コルヒチン錠0.5mg「タカタ」
PTP シート	
形状	円形の錠剤 
直径	約7.0mm
厚さ	約2.1mm
重さ	約110mg
色	青色
識別コード	TTS-592

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	コルヒチン錠0.5mg「タカタ」
有効成分	コルヒチン
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、バレイショデンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム、青色1号

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：高田製薬株式会社

(<https://www.takata-seiyaku.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-989-813

受付時間：9時00分～17時00分

(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)